

【小論文】 出題意図・採点基準

問題 1

【出題意図】

本問題は、看護学研究科修士課程の入学者として求められる、以下の 4 つの能力を総合的に評価することを目的としている。

評価の観点	求められる内容
AI に関する基礎知識	ウェアラブルデバイスによる健康管理から、医療における検査・診断・治療支援、遠隔診療・テレナーシングに至るまで、AI の活用領域を体系的に理解しているか。
看護・医療における可能性の論述	患者主体の健康管理、へき地・看護師不足への対応（地域格差の解消）、在宅における介護者負担の軽減など、看護の視点から AI の可能性を具体的に論じられているか。
課題の多角的な把握	患者の個別性への対応の困難さ、コミュニケーション上の課題など、看護専門職として倫理的・臨床的な問題を認識しているか。
論理的構成と自己経験の活用	序論・本論・結論の構成で、自身の実習・臨床経験に基づく具体的エピソードを交えながら論述できているか。

【採点基準】

- ①AI に関する基礎的知識（一般向けでは、ウェアラブルデバイスによる心拍数や歩数などを情報化して健康管理を行うことや、医療では検査・治療・診断、それによる人手不足解消および、遠隔による診療・ナーシング含）例）＊在宅における遠隔死亡診断においては、研修を受けた訪問看護師が医師の補助を行い遠隔で死亡診断ができる仕組みができています。（対象となる疾患のみ）
- ②患者主体の健康管理の可能性、僻地含む看護師不足への対応の可能性（地域格差解消の可能性）、在宅においては高齢化に伴う介護者負担軽減の可能性（ロボット導入）
- ③・患者の個別性への対応が難しい
  - ・コミュニケーション上の課題
  - ・導入に伴う経済的負担
  - ・機器の操作の習得等

## 問題 2

### 【出題意図】

●アドミッション・ポリシー1 および 2 を評価する視点からの作成

- 1.保健医療福祉専門職者としての知識並びに職業倫理を有する人。
- 2.保健医療福祉の専門分野における国外の動向及び実践上に課題意識を有し、解決に取り組む意欲を有する人。

### 【採点基準】

問 1：実践上の課題を見出せる職業倫理感（感性）

問 2：実践上の課題を分析的に思考できるリフレクシオン力、言語化できる知識

問 3：解決に取り組む意欲、創造性、独自性